

# 道徳学習指導案

対象 第3学年

1 主題名 命の尊さ 3-(1)

2 資料名 「命」(「あすを生きる3」日本文教出版)

## 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

自らの命の大切さを自覚させると共に、他者の命を尊重する態度を身につけさせることが大切である。命あるものは相互に生かし、生かされていると言うことで、人と支え合い、励まし合っているという点を認識させていくことが重要だと考える。また、人が生命に関わる悩みや壁を乗り越え、挑戦する勇気や希望を見出したとき、その命はいっそう輝きを増すことになる。命が輝くとは「精一杯生きる」ことであるということを理解させたい。

(2) 生徒の実態について

中学校生活を明るく楽しく生きてきた者にとって、卒業までの時間はもうあと少しと思うと心細いと思う。進路のことを考え、理想と現実とのギャップに苦悩し、自信さえ失い欠けたとき、自分の存在価値を見失いそうになる生徒もいたかもしれない。そんなときだからこそ、自分の価値を見出し、望まれて生まれてきたこと、他者に必要とされていること、明るい未来を生き抜くことを考えさせたい。いずれ父や母になるであろう生徒に命の重さ、尊さは他者と関わることで深まることを認識させ、卒業後も多くの困難に打ち勝つ強さを持ちながら精一杯に生きていってほしいということを伝えたい。

(3) 資料について

身近な人間関係における他者の命の尊重がテーマになっている。ひとつの「命」が周囲の人々の生き方にも影響を及ぼしたことが描かれている。命は自分にとって重要だが、周囲の人々にとっても勇気や希望を与えるものであることを強く感じることができる。筆者の考える「命の尊重」とは、自死の抑止だけではなく、軽はずみな行動を慎み、毎日を精一杯に生きることである。

## 4 本時の学習

(1) ねらい

命あるものは互いに支え合って生かし、生かされている存在であることに気づかせ、生命を尊重する態度を養う。

(2) 指導過程

段階	学習活動と○主な発問	予想される生徒の反応	●教師の働きかけ ○指導上の留意点
導入	1 「シャボン玉」の詩を読み、歌詞の説明を聞き、生と死についての関心を持つ。	・昔から知っている歌の意味を知る。	○野口雨情による歌詞の説明をし、本日のテーマに関心を持たせる。 ●「シャボン玉」の詩を黒板に貼る。(T2)

<p>展開</p>	<p>2 資料「命」を読み、次のことについて考え、語り合う。</p> <p>発問①「三人目の子ども」を産んだ本当の理由を母から聞いて「ぼく」が後悔したのはなぜか。</p> <p>発問②・中心発問「ぼく」が母に「妹を産んでくれてありがとう」と言いたかったのはなぜか。</p> <p>3 保護者アンケートを紹介し、親の思いを知る。</p> <p>発問③親の思いをどう受け止めるか。</p>	<p>・妹が生まれるのが恥ずかしい。</p> <p>・「弟」を亡くした母の気持ちがわかった。</p> <p>・「ぼく」に兄弟を失う寂しさを味わせたくなかった母の思いがわかった。</p> <p>・生き生きしてきた母を見て嬉しい。</p> <p>・妹がかけがえのないほど大切になった。</p> <p>・親や家族が、こんなに自分を支えてくれていたのか。</p> <p>・自分がこんなに大切にされていたのか。</p> <p>・沢山の希望や期待をこめられて生まれてきた。</p>	<p>●資料を朗読する。(T1)</p> <p>●資料名を黒板に貼る。(T2)</p> <p>●発問カードを黒板に貼る。(T2)</p> <p>●指名し、発表させる。(T1)</p> <p>●生徒の意見を板書する。(T2)</p> <p>○筆者の考え方の変化に着目させる。</p> <p>○「恥ずかしい」と思った「ぼく」の内面に焦点を当てて考えさせる。</p> <p>○母が「弟」をどのように思っていたのかを考えさせる。</p> <p>●発問カードを貼る。(T2)</p> <p>●机間巡視をし、助言をしながら生徒と考えを深める。自分の考えをワークシートに書かせる。(T1, T2)</p> <p>●指名により、発表させる。(T1)</p> <p>○資料「命」で学習した他者と共生する重要性を「アンケート」につなげる。</p> <p>○一人一人の思いを大切にしながら、ワークシートに書かせる。</p> <p>●机間巡視しながら、生徒の意見や思いをくみ取る。(T1, T2)</p> <p>●指名により発表させる。(T1)</p> <p>●生徒の意見を板書する。(T2)</p> <p>○一人一人の生徒の思いを大切にしながら、クラス全体が感じ、考えられるようにする。</p>
<p>終末</p>	<p>4 今日の授業で感じたこと、考えたことを「たったひとつの命だから」の一文の後に続く言葉として書き、発表する。(ワークシート)</p>		<p>●ワークシートに記入させる。(T1)</p> <p>●感じたこと、考えたことを聞く。(T1)</p> <p>○自分自身を振り返り、命を尊重すると言うことはどういうことかを深める。</p> <p>●数名の生徒に発表させる。(T1)</p> <p>●ワークシートを回収する。(T2)</p>

(3) 評価の観点

- ・「自分の命は、自分だけのものではなかった」ことに改めて気づき、人間は相互に支え合って生きていることに着目し、他者への感謝の気持ちを持てたか。
- ・毎日の生活で、自分や他者の命を尊重しながら、いかに精一杯に生きているかという振り返りを行うことができるようになったか。

5 板書計画

命

シャボン玉

野口 雨情

シャボン玉 消えた

飛ばずに 消えた

生まれて すぐに

こはれて 消えた

ぼくの後悔

・妹が生まれるのは恥ずかしい。

・「弟」を亡くした母の気持ちがわかった。

母への感謝の気持ち

・生き生きしてきた母を見て嬉しい。

・妹がやっぱりかわいくて大切に思う。

誕生に寄せて

・

・

親の子に寄せる思い

命あるものは互いに生かし、生かされている存在

たったひとつの命だから